



戸山幼稚園
2025年
1月9日発行

あけまして おめでとうございます

皆様は、どんなお正月を迎えられましたでしょうか。

きっと、ご家族で笑顔いっぱい、穏やかな楽しいお正月をお迎えになられたことでしょう。

この年末年始は、例年よりいくらか気温も高く、お天気にも守られて過ごせましたね。しかしながら、年末にはインフルエンザやりんご病などの症例も多く見られておりました。これから始まる3学期に、子どもたちが元気に健康に過ごせることをお祈りしつつ、前向きに取り組んで参りたいと思います。皆様のご協力に感謝しながら、本年も保育に努めていきますので、変わらずご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



笑顔の多い一年になりますように。

それではまず、2学期終わりの取り組みを少し振り返ってみましょう。子どもたちはクリスマス会を経て、どんな風に成長したのでしょうか。各学年によって、またそれぞれのクラスカラーによって演目は異なり、披露する子どもの姿は個性に富んでいます。同じ【クリスマス会】でも必ず自分たちの味を付け、意欲的に参加できる子どもたちの様子を共に喜んでくださる保護者様方の空気のおかげで、温かなクリスマス会になったと思います。

<ちゅうりっぷぐみ>

1学期から自分の大好きなキャラクターや動物になりきっては、遊びながらお話や動きを表現する力があり、この子どもらしい“今”の姿をお届けするために日々その思いを叶えながら過ごしていました。虫やピカチュウ、バレリーナは日常生活で受けた刺激を積み重ね自己投影し、恐竜たちやプリンセスは非現実世界への憧れを表出し、全て子どもの内から出てくるものを、互いに楽しそうに共有するクラスの強みを感じました。装飾品のおかげでさらに表現に拍車がかかり、披露するのも楽しみにしていたのですが、そのために一度も“練習”したことはなく、毎日自ら舞台上上がりピアノを弾いてとせがむちゅうりっぷさんたち。どの子もクリスマス会に前向きな姿を見せてくれたことが、運動会から大きく成長を感じる姿でした！この子たちだからこそ出来上がったオリジナル作品♪来年の成長も楽しみですね😊



<さくらぐみ>

さくらさんには絵本やお話作り名人が沢山いるようです。大人には考えつかない発想が溢れても、年中となるとそれぞれの想像力でしっかり展開を作り楽しんでしまうのですから、昨年との成長を感じます。またこのクラスは人前に立つことに恥じらいを感じる子も多かったのですが、今年は一味も二味も違い、堂々とホールで練習している姿に感激する保育者たちでした！やはり自分たちで作上げたことの充実感と自信を付けていたのでしょう。おばけ“か”しきというタイトルも、子どもの書いた“や”が“か”に見えたという自然発生そのもの。そんな些細な面白さを劇に仕立てあげるのは戸山幼稚園ならではの誇らしさすら感じます。友だちと協調する喜びを持たせたことは、来年への大きな一歩です。このクリスマス会で年中の自由性、想像性が詰まったお話を作り上げる活動は大いに意味を持つのです★

<ゆりぐみ>

今年のゆりさんは、とっても真面目な子たちなので、絵本でページェントへの理解を深めれば深めるほど、吸収すればするほど、張り切って演じていました。自分たちで決めた役です。一番なりたかった役になった子も、譲った子もいました。簡単なことでは無いですが、戸山の子たちは、毎日自分たちの心を大きく動かして意思を持って過ごしているからこそ、自分たちで話し合って決めています。どんなきっかけでお気に入りの役ができるかは人それぞれで、過去のゆりさんに憧れた子も、衣装や踊りが好きになった子もいますし、友だちと一緒に演じてみて、楽しかったからと直前で意思が変わることもあります。そうして心を揺らしながら考え、一つの目標に向かえるようになった成長をまざまざと表現していた本番でしたね。各役ごとにお気に入りの場面をしっかりと持っていたり、自分たちでこだわって動きや言い回しを考えたり、内なる熱さを感じる日々でした。こんな風に年長としての誇りを抱えながら人前に立てる子どもたちになるなんて…と、これまでの2年間を思い出してはその成長に感激しました。ゆりさん、たくさんの喜びをありがとう！

どの学年も今の最大限の力を出し切ったクリスマス会だったと思います。そのために今年も係のお母様方を筆頭に様々なご準備をしてくださり本当にありがとうございました。特に余興ではお父様方の参加も増え、子どもたちのため、園行事のためにご尽力いただけますことを嬉しく思いました。さあ、いよいよ3学期がスタートいたします！！3学期はとても短く、駆け足で過ぎていくように感じます。卒園を控えたゆりさんと過ごす時間を大切に、進級する子どもたちの気持ちを受け止めながら、色々な体験や発見を重ねていけるように保育に臨んでまいります。そして、様々な驚きや喜びに共感し合ったり助け合ったりして、戸山幼稚園ならではの、より豊かな経験を積み重ねて参りたいと思っています。

3学期の子どもたちの『自己充実期』

この先の子どもたちは、自己を充実させるとき！仲間と一緒に楽しい！と感じながら生活や遊びを進めていけるようになっていきます。そして理解力や認識力が増し、試行錯誤しながら仲間とじっくり遊ぶ姿が見られるようになります。また行事や様々な取り組みを通して“達成感”や“満足感”を味わいながら、自信を持って遊びや生活を充実させていきます！各学年、その年齢に合った充実のさせ方で、友だちと一緒にすることの楽しさを十分に味わい、友だちの存在や良さを認め合って、何事にも主体的に取り組むことで『自立』に向かって歩み始めていきます。ついに1年の集大成ですね💎

さあ、そんな『自立』に向かって歩み始めている子どもたちに、私たち大人はどんな関わりをしていけば良いのでしょうか？「子ども自身が自分で行動し、試行錯誤しながら学んでいく時」なので「子どもが自分でする」という姿を見守る事が大切になってきますね！！『**口も出さず、手も出さず、自分で出来たという自信が持てるように見守る**』…これが、とっても難しいのです😓少々時間はかかると思いますが、見守る姿勢で根気強くお願いします！そして、出来たときは大いに認めてあげましょう♡認めの言葉は子どもたちの自信に繋がり、次に挑戦しようとする意欲に変わっていきます🌟具体的に、以下を意識して実践していきましょう😊

試み

- その1、自分の持ち物は自分で持たせましょう！
- その2、「いつてらっしゃい」のおわかれは、門の前でしましょう！
- その3、ついつい、口も手も出て手伝ってしまうので、口も手も出さずに、「自分のことは自分ですべき💎」という姿勢を貫きましょう！



もう既に実践されている方が多いと思いますが、1つでも思い当たったら試みてください。親御さんにとっては「強い意志と行動力」が必要になるかもしれませんが、子どもたちの力を信じ、任せる機会を増やしてあげてください。ただ、もちろん個々のペースもありますので、気になることはお気軽にお声がけくださいね♪今学期も宜しくお願い致します。